特集

東日本大震災から10年
震災に学ぶ

問 広報政策課☎内線3221

東日本大震災の発生から10年が経過しました。この日を迎えるにあたり、市内の各小・中・義務教育学校でも震災が起こったことを風化させないようにとさまざまな取り組みが行われました。皆さんもこの機会に、災害への備えを再確認してみましょう。

塩釜市津波防災センターの見学

被災現場で説明を受ける生徒たち

一斉に黙とう

被災地である宮城県への修学旅行

10月、ひたち野うしく中学校の3年生は被災地である宮城県への修学旅行を実施。東日本大震災で避難所や復旧の拠点となった三陸海岸にあるホテルで震災・防災に関する講話を受けたり、同ホテルが行っている「語り部バス」に参加しました。旧戸倉中学校や旧南三陸町防災庁舎など被災現場を巡り、動画や写真からでは知ることのできない実際の風景を目にし、生徒は10年前に災害が起こったことを実感しました。

修学旅行感想文より抜粋

ひたち野うしく中学校3年 森島 仁唯奈さん

「いつか起きるかもしれない、という心構えを」

修学旅行の前、2011年3月11日のことを思い返してみました。私は6歳で、恐怖だけは鮮明に覚えています。実際に被災地に行き、被災者の方々から話を聞き、とてもショックを受けました。あの日、あっという間に奪われたたくさんの命と日常。「幼かったから」という理由で目を背けてはいけないことだとわかりました。誰しも経験しないと「自分は大丈夫」と思ってしまうでしょう。しかし、知らないふりをすることは一番の罪であり、いつか自分の大切な人の命をも奪ってしまうかもしれません。今回の貴重な体験によって改めてそう感じました。自分と大切な命を守るために、対策をしっかりとし、「いつか起きるかもしれない」という心構えをしておこうと思いました。

ひたち野うしく中学校3年 中村 美桜さん

「防災について学ぶことの必要性を実感した」

今回の修学旅行ではたくさんのことを学びました。特に東日本大震災については衝

災害に備えて

問 防災課☎内線1684

避難場所を確認しておく

「**牛久市ゆれやすさ防災マップ**」で、避難場所や避難方法を確認しておきましょう。

※防災マップは市ホームページ、または「牛久市暮らしの便利帳」に掲載されています。

家族で防災会議をする

- ●災害発生時の役割分担を決めておく
- ●避難(集合)場所・避難ルートを決めておく
- ●緊急時の連絡方法を決めておく
- ●安否情報を取り次いでくれる人(遠方の親戚や友人)の連絡先を決めておく　など

非常用持ち出し品を準備する

非常持ち出し袋にまとめて、玄関や部屋の中の目に付きやすい場所に置いておきましょう。非常持ち出し品以外の備蓄品は、車や物置などに分散しておくと、いざというときに役立ちます。

非常時の基本持ち出し品リスト（一例）

□携帯ラジオ	□軍手
□懐中電灯	□ロープ
□医療品（常備薬など）	□ビニール袋
	□衣類
□お薬手帳	□雨具
□飲料水・食料品	□マスク
□現金・貴重品	□消毒用品　など

上記に加える＋持ち出し品

▼女性用

□衛生用品	□保湿クリーム
□洗顔シート	□基礎化粧品　など

▼赤ちゃんがいる家庭用

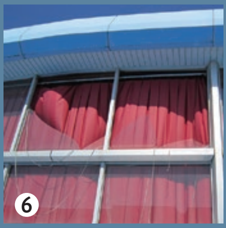
□紙おむつ	□離乳食
□おしりふき	□母子手帳
□粉ミルク・哺乳瓶	□抱っこ紐　など

▼高齢者・介護者等がいる家庭用

□大人用おむつ	□補聴器
□老眼鏡	□介護手帳
□介護用品	□入れ歯　など

震災発生当時 市内の様子

牛久市でも建物やライフラインに大きな影響がありました。



①道路に入った亀裂(ひたち野東)②③ビデオテープなどが散乱した図書館④キャビネットなどが倒れる(市役所本庁舎)
市内の学校でも天井板の落下や窓ガラスが割れるなどの被害(⑤⑥牛久三中⑦下根中⑧牛久南中)

震災を振り返る

3月11日、神谷小学校ではクラスごとに震災を振り返り、黙とうを捧げました。渡辺校長は児童に「今も悲しい思いをしている方がたくさんいることを忘れないでほしい。私たちは今、生きています。どうか生きたくても生きられなかった方々の分まで精一杯毎日を生きてください」という言葉を送りました。

震災・防災講話の様子

撃を受ける話が多く、本当に貴重な体験でした。中でも印象的だったのは「1000年に一度の災害は、1000年に一度の学びの場」という言葉です。震災によって失われたものはたくさんあります。命、心、笑顔、夢、宝物。それでもそれを学び思うことができるのは、次に繋げることで失ったものを無駄にしないようにしていこうという強い気持ちがあるからだと思います。私たちができることは、防災について学び、まず自分の命を守ること、そして大切な人も守ることだと分かりました。話をしてくださった方々が伝えたかったのは、「自分は大丈夫」なんて考えてはいけない、ということだと思います。常に危機意識を高め、災害が起こったときに自分や周りの命が助かるようにもっと防災について学ぶ必要があると感じました。

※生徒の学年は令和2年度のものです。

災害に備えて

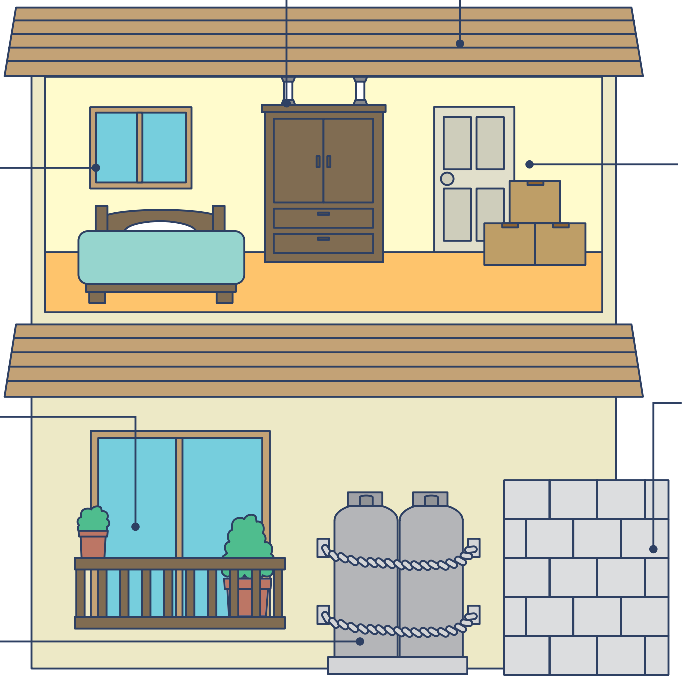
問 防災課☎内線1684

家の内外の危険を解消しておく

災害はいつ起こるかわかりません。普段から対策をして減災に取り組みましょう。

地震への備え チェックリスト

- □**家具の転倒や落下を防止する**
  固定金具などで家具と壁、天井を固定する。家具と壁の間の隙間をなくし、家具の上には落ちそうなものを置かないようにする。また、寝室には倒れやすい家具を置かないように配置に気を付ける。
- □**屋根を補修・補強しておく**
  屋根瓦の補修・補強をして瓦が落ちないようにしておく。
- □**窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る**
  飛散防止フィルムで割れたガラスが飛び散るのを防ぐ。
- □**出入口や通路に物を置かない**
  安全に通行できるように玄関や通路には倒れやすい物を置かないようにする。
- □**ベランダの物を固定する**
  飛ばされると危険な物は置かない。または固定しておく。
- □**ブロック塀を補修・補強しておく**
  倒壊防止のため土中にしっかりした基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは補強し、ひび割れや傾きがあれば補修しておく。
- □**ガスボンベを固定する**
  転倒防止のためにしっかりとした土台の上に置き、鎖などで固定する。



もしもの時、自分で自分のまちを守る！

牛久市消防団員募集

\PR動画公開中！/

牛久市公式YouTubeチャンネルで消防団PR動画を公開中！

消防団は、消防活動を実施する地域ボランティアです。牛久市消防団で活躍しているのは、世代も職業もさまざまな一般の方々。普段は仕事などに従事しながらも、火災や風水害、震災などが発生した際に、地域防災の要として活躍しています。あなたも、「自分のまち」を守るため、消防団の仲間になりませんか。

入団資格

次の条件を満たす方
①市内在住または在勤の方
②18歳以上の方
③職務遂行に支障のない身体的状態の方

活動内容

火災・風水害・その他災害対応、訓練、広報、消防水利・消防車両の点検管理等。

身分と待遇

①消防団員は非常勤特別職の地方公務員です
②入団後には制服等が貸与されます
③消防団員には条例に基づいて年額報酬および出動手当が支給されます
④顕著な功績があった場合は表彰されます
⑤活動中の負傷は、公務災害補償制度に基づいて補償されます

詳しくは市ホームページをご覧ください。
女性消防団員も募集しています！

牛久 消防団 検索

【入団申し込み・問い合わせ】地区の分団長または市防災課にご連絡ください。防災課☎内線1681～1684